<u> </u>	<u>· </u>	·	上 務事	<u> 茉評価シー</u>	<u>- </u>	(平	及 26	年)	艾 実施事	·美)		跫	埋番号	市人01				
	車	公 本							会計	1 -	般	会 計						
	事務事業名	松合化	談事業						予款	3 民	上生費							
総	まちづくり								算一古	1 社	会福	計費						
合基	の目標(章)	4	魅力ある	る地域社会を拓く活力あるまち 識・人権尊重					1 1		会福祉施設費							
本	施策(節)	1	亚和辛斡									化センタ	一海份					
本計				第 八権寺里														
画	施策の方向	(2)	人権教育	•人権啓免())推進				作成部署	羽曳野	野市立	乙人権文化	ムセンター	_				
関	連する計画等	羽曳野	市人権施	策基本方針及	基本方針及び基本計画						(連絡先) 072 - 955 - 4556 内 線							
									012 000 1000 F 3 lbK									
	事業の概要			する生活上の						、対	応する	るためのホ	目談事業	を行うこと				
	(目的•内容)	で住民	の自立支	援及び福祉の	向上に	資する	ことを目	的と	:する。									
	根拠法令等	社会福	5d. 34 · 1 ·	権教育及び人権啓発の推進に関する法律 羽曳野市								Fil .						
-	事業期間		<u> </u>	惟叙月及い八				(広1			猫 (5		左曲眼	+/>				
-		Y	10年以上		21	F以上I	0年未満			0千不	冲 (-	产队	年度開	妇)				
	事業開始時から トサロホル	平成214	年度から	は、府補助事業から府交付金事業に再構築。														
0.)状況変化																	
	実施手法		直営	一一一部委	託	abla	全部委託	ŧ,	□ 補	助金	助成	(金)	□ その他	<u>i</u> ()				
	委 託 先			委託 名称()	委託内容	人	人権等生活相談全般							
		☑ .	民間委託		□ ₹	-の他					7 TE 1 - 210 10 M - 2/3							
	EZ.	,		24年度	254	丰度	26年度	Ę	27年度			\T =	24 /L M					
	区	5	J'	(実績)	(実	.績)	(実績)		(見込み)	3!	5,000 _	活到 ——————	単位当たり	J 7 L				
事	業費【1】		(千円)	6, 789	7	, 128	5, 62	29	5, 68	5			•					
人	件費【2】		(千円)	690		690	69	06	71	8	0,000							
	正規職員			0.10 人	0.1	.0 人	0. 10	人	0.10	人 25	5,000							
職	再任用職員		人		人	****	入	****		0,000								
員数	嘱託職員						分		-	5,000								
釵	臨時職員・非	常勤職	a		•	一人		分		1								
超	過勤務(参考)		(時間)	時間	1	時間		時間		<u>ノ、</u> 10 時間	0,000							
	事業費(【1】+【	(21)		7, 479		7, 818	6, 3		6, 4		5,000							
HACA			(千円)	1, 110		0,020		20	0, 1	00	₀ L							
財	ロゲスロー			4 201	3, 468		3, 497		2 40	7		24	25	26 27(見込み)				
21	***		4, 391	3	, 408	3, 491		3, 497										
源内訳											成果指標①							
訳								_			120							
	一般財源	Ĺ	B】(千円)	3, 088	4.	350	2, 82	28	2, 90		100							
	動 指 標 (事業の活動実績	<u> </u>	C】 <u>単位</u>	24年度	254	丰度	26年度	Ę	27年度 (見込み)				· ·	·				
_	· 丁末の石動奏順 ·相談日数	₹/	1	245		244	24	4	25	0	80							
_	相談延件数		件	575		788	80		80									
	・柏談延件数 動単位当たり:	L	14				80	10	80	0	60							
冮	判甲型ヨ にりこ	コスト (【A】÷【	c] ①)	30, 527 F	32, 04	11 円	25, 920	円	25, 611	円	40							
活	動単位当たり-			12,604 F	17, 82)Q m	11, 588	Е	11, 623	円								
		B]÷[C]	1)	12,004 F	17,02	20 H	11, 500	17	11, 023	H	20							
市	民1人当たり:	コスト (【A】÷ <i>、</i>	Ι Π)	64 F	ı	0 円	55	円	56	円	0	1	-					
	40 D LARE F - 3 - 1/				4.0	. 0. 0/	▲ 25 0	0/	2.0	0.4		24 2	25 26	5 27(見込み)				
_	般財源【B】の推		40.9 % ▲ 35.0 %					2.8 %										
×	前年度比5%以	上変動1.	ている要	□ 1. 制度改	1. 制度改正・事業の見直しなど				2. 7	左記1	によら	ない対象的	‡数などの	増減				
	(該当する場合		., 02	□ 3. 物価・1	賃金水準	水準などの変動			4 . [国庫支	出金	出金など特定財源の増減						
×	該当項目すべて	 		□ 5. その他	!()				
			+2+番2				7 CHO 4 / F		37 FF 07	生性		VI CHOCK	· 库	•				
		- ، ۱ ا ا ا ا	指標名				平成24年度			5年度		平成26年	· <u>度</u> 達成率(%)	平成27年度				
Ŀ	な う し 相談	談実施			%	目標	10)	100		100		100				
月	果業を(式又は	活動地超	更口粉· 扣	熱宇振口粉∨1 	実		10		10		00 100		100.0%					
	の 訓 説明)	1口 # 17 11 日代	カ指標日数÷相談実施日数×100 			績	10		′	100			+ - 15					
扫	重 達る ② 適	芯対応≊	率		%	目標		100)	100)	100	達成率(%)	100				
桐	度標(式又は					実			+				100.0%					
	説明)	対応件数	女÷依頼数	$\times 100$		績		100)	100)	100	100.0/0					

					-L - D	n = 18 S.	/	-m 1					- T. Isra		
	市	市の関与が必要な理由										評価			
	の 関	1 :+ & L	2 == \(\tau \(\tau \)	最低限の	4 市民の	5 社会的		6 民間だけ		7	8	9 第一来 (-	必要性		
	与 の	法令上 の義務	受益者 が不特 定多数	最低限の 生活水準 を確保	市氏の 不安を 解消	社会的 経済的 弱者を 対象		では負担しきれない		民間だけ では供給 不足	市の特色 等を市内 外へ発信	第三者に も受益 がある	有		
	必							С)	\circ	·				
	視点	分析のためのチェック点							該当なし	分析・評価の説明					
	妥当性	市民ニーズか標が増加傾向	又、活動指	\square			市民生活上の様々な課題の発見・解決 行うためには欠かせない事業である。 労困難から生活上の相談など、生活に ける個々人の様々な状況に応じた対応 総合的に実施している。								
		市民ニーズと	恒切か	\square											
		他市の水準と	要がない	Ø											
		事業を縮小、	L)	\square											
	効率性	活動単位あたりコストが適切である(経年比較など)								のスキル	の継承を	活用し、コ	託による相談 最少の経費で		
		使用料・手数				\square	運営を実施している。								
分析		人員を削減す		Ø											
評価		事業費を削減する余地がない													
		国・府の事業や市の他事業と重複していない													
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない													
		民間活力(民間委託、NPO・ボランティアなど)の活用について検 討の余地がない(すでに活用しており、拡大の余地はないを含 む)													
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、 参加、協力が得られているか							V		支援・福		しており、住 に寄与してい		

		参加、協力	が得られて	いるか						るものである。				
	有効性	効性 成果指標の実績値は目標値以上である					Z			様々な相談事案 関として定着し	客に適切に対応し、相談機 いている。			
	達成度	産成度 成果指標は前年度より向上している						î 🗆						
	総合評	平価												
10		☑ 継続				改善			ŕ	廃止∙休止	止·休止			
担当	(根	そね現行どま	り継続して	も方法の)改善を検討す	「る)	る) (事業規模の縮小を検討する)				(廃止・休止を検討する)			
部局	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)													
担当部局評価	地域の要でで		(様々な)	状況に寄り	添い	ながら、市	下民の 指	包える	生活	舌上の問題発見、	解決	のために継ん	売が必	
	<i>to</i> A =-	T. 177			== /== 1	·m. L. + +								
行革本部評価	総合評	半1曲			評価	理由·意見								
		継続		改善										
評価		縮小		廃止∙休止										